

## その1 明鏡橋でこんにちは

その1 「明鏡橋でこんにちは」

前回のエコミュージアム飛び込み訪問で、町の案内人さんを紹介していただくことになった桃色ウサビ。

町のキャラクターになることを夢見て、いよいよ探検スタートです。

今日のウサビは7時起き

なんといっても、記念すべき朝日町探検の第1回目なのです。

今日は、朝日町のワイン製造工場「ワイン城」に連れて行ってもらう予定です。



(でも、正直あんまり朝は強くない)

昨日の夜からドキドキだったけど、頭の中でこれからの朝日町について考えていたらいつの間にか寝てしまっていたよ(きっと、夢のような素敵な町になるっていう暗示だね )

さっそく、待ち合わせ場所へと急ぐウサビ



エコミュージアムさんが指定した待ち合わせ場所は

土木学会選奨土木遺産に認定されている「明鏡橋」

昭和 12 年に建設されたこの橋

今でこそ、町内の最上川にかかる橋はたくさんあるけど

当時は兩岸の地域をつなぐ数少ない橋の 1 つだったので、集落の交流の要、そして、若者達  
の出会いのスポットだったそうです(エコミュージアムノートより)



やっぱり役に立つな～エコミュージアムだより(前回の取材時にお姉さんからもらったやつです)

と、そのとき…



「橋の中央に人影発見！！」



「おーい！桃色ウサビだよ！！」

嬉しさを押さえきれずウサビは走り出しました。



まさか、1日目の早朝から、あんな悲劇が起こるとも知らず…

…







.....

橋は、気温の変化に応じてわずかながらに膨張、収縮を行なっています。

それに対応するため、近代に建設された橋には両端にわずかな隙間が設けられています。

橋を渡るときはつまづかないように注意しようね。

……「こんにちは」……



流れる微妙な空気（なんにもいえねえ……）

こういうときはとりあえず……



「こんにちは、桃色ウサビです。夢は朝日町の公式イメージキャラクターになることです」

なかったことにして、握手でごまかしてみたよ

今回、案内をしていただくのは、エコミュージアムの水先案内人・遠藤由美子さんです。





町内の新聞営業所で働く遠藤さんは、仕事柄、町のいろいろなスポットをまわっていらっしゃるのので、今回の探検にぴったりということで、ご紹介していただきました。

せっかくなので、明鏡橋から景色を見ながらしばしお話をすることに



いわずもがな、やたら眺めがいい。さすがデートスポット

遠藤さんから朝日町の見所などをいろいろ教えてもらいました。

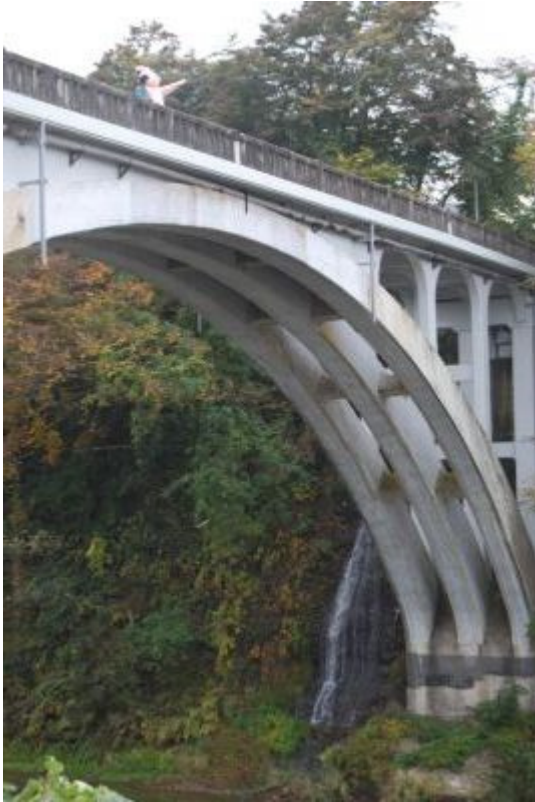
これから行くのが楽しみです。



遠藤さん「でも、ちょっと寒いわね」

ウサビ 「いえ、着ぐるみの中はすごく暖かいです」

体感温度は違えど、気持ちの熱さは同じ。遠藤さんとの話の中で朝日町に対する思いを聞き、やる気と勇気もらったウサビ。



古きよき味を残す明鏡橋の欄干ですが、橋脚部分是对照的に丈夫な近代的なつくりになっています(橋脚は最近補修されたばかり)。

はるかかなたの、朝日連峰(たぶんあの辺)を指差し朝日町を盛り上げていくことを誓います。

そして、いよいよ、今回のメインスポット「ワイン城」に行くことに！

旧明鏡橋から歩くこと約 10 分



周りが、あきらかに普通じゃない樹木になってきた

そう、ここが朝日町のワイン製造工場 & 直売所「朝日町ワイン城」です



……なぜ城なんだろう……云いようのないひっかかりを感じながら果樹園内を歩いている  
と……

その時でした



「あ、誰かいる！！！」



ワイン城専務の阿部さんです。

この取材のために特別にお時間をとっていただきました。

まずは自己紹介



「桃色ウサビです。ぜひ僕に、朝日町ワインのことを教えてください」

ウサビの異常なフォルム(耳まで入ると約2メートル)に、正直言って困惑している阿部さん

会ったときの第一声は

阿部さん「はじめて会ったとき、防寒着にしては変な格好だなんて思った…」(後日談)

専務・阿部さんは少し考えた後…

阿部さん「(断ったらなにされるかわからないし…)しかたないなー、ついてきなさい」

ウサビ「やったぜ」



軽快なステップでついていくウサビ

ありがとう、さすが専務！！

こうして、ウサビのワイン城探検は始まったのでした……

その2 ブドウ畑でウ・ウ・ウマウマにつづく>>